



株式会社クリスタルプロセス（広島県東広島市）

自動車用コーティング剤を軸に国内外へ事業を拡大
持続可能でメンテナンスフリーの未来を創造する



同社研究室

独自のコーティング技術を世界標準へ

「高機能な表面被膜で、持続可能でメンテナンスフリーの未来を創造する」。このミッションの下で事業を拡大しているのが、広島県東広島市の株式会社クリスタルプロセスだ。自動車分野を中心とするコーティング剤や研磨剤等の研究開発・製造・販売を手掛けている。

同社の歩みは、自動車メーカーの調色師だった初代社長・秋吉一介氏が「自ら開発した色をどれだけ美しく保てるか」という想いを抱き独立、1994年にカー用品店などプロ向けコーティング剤の開発・販売を始めたことに端を発する。独自のポリマーコーティング剤により取扱店を1,000超まで拡大後、耐久性の高いガラスコーティング剤を他社に先駆け開発。素材特有の「硬度はあるが、もろい」という課題に対応し、原材料配合を工夫することで柔軟性を確保。それまで困難だったボディでの利用を可能とした。温度変化による鉄板の伸縮に伴うひび割れを防ぐ画期的な技術である。

創業30周年の昨年、営業部長・葛間優太氏の社長就任を機に「第2創業期」をスタートした同社は、持続効果7年以上と業界最長を誇る高品質・高機能な製品を提供。「東広島発の技術を表面素材コーティングの世界標準へ」と葛間社長は「メンテナンスフリー」の未来実現を見据える。



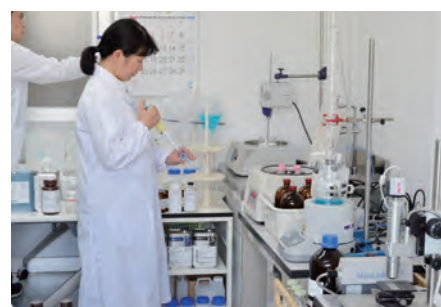
本社外観

1 種類・1 工程で美しく仕上がるガラスコーティング剤

同社の製品ラインナップは、ガラスコーティング剤、洗車用シャンプー、研磨剤など多岐にわたる。中でも主力のガラスコーティング剤は、複数の液剤を混ぜる必要がなく、1 種類・1 工程で作業が完結し、高い撥水性と耐久性を両立。作業速度や効果の持続性等、異なるニーズに対応する多彩な製品を揃える。さらに、特許を取得した鏡面仕上げ用研磨システムでは、3 工程だった施工程を研磨剤 1 種類・1 工程で可能にした。葛間社長曰く、こうした高効率性と仕上がりの美しさが様々な施工店の現場で高く評価され、シェア拡大につながっているという。

また、大きなウェイトを占める同社の OEM 事業では、温度等の施工環境を踏まえて液剤の乾燥速度を調整するなど、顧客の要望をひとつずつ形にできる技術力・開発力が強みとなっている。

こうした優位性の源は、研究者自らコーティングを行う姿勢にある。「部署の垣根を越え、現場の感覚を理解した上で製品開発を行うことで、ユーザーの繊細な要望にも即応できます」と葛間社長は狙いを語る。加えて未来を見据え、世の中にないものを生み出す「ゼロイチ」の開発も推進しており、顧客からの「面白い製品」との評価が、高い技術力のアピールにつながっている。



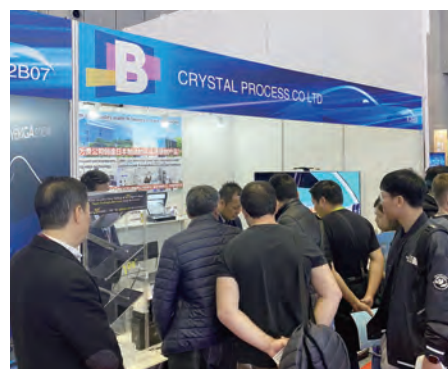
上：製品の一例
下：研究開発用機器

海外市場の拡大と新分野の開拓を目指す

同社の製品は日本国内に留まらず、欧米やアジア諸国など海外に広がっている。コロナ禍の影響で活動が制限されていたが、今年度は展示会出展や顧客訪問を再開し、市場拡大を図る方針であり、これらに携わる人材の確保・育成も強化している。国内では自動車分野を中心に、困った時に相談できる会社として広く認知され、同様の信頼関係を海外でも築くことを目指す。

また、現在は売上の大半が自動車分野であるため、共同開発を通じて新分野への挑戦を進めている。試作に協力してもらえる企業と連携し、同社が液剤の開発・調整を繰り返しながら新たな用途を模索しており、建築関係やモバイル用コーティング剤のほか、工場内で粉体を扱う設備に粉が付着しないようコーティングし、ロスを防ぐといった事例もある。引き続き新たなパートナーを発掘しながら、自動車分野以外の事業を広げる考えだ。

同社は今後も、創業以来培った独自のコーティング技術と優れた開発力を基盤に、メンテナンスフリーの未来を切り拓きながら、国内外市場における存在感を高めていく。



中国・上海での展示会の様子

株式会社クリスタルプロセス
代表取締役 葛間 優太 氏
本社：広島県東広島市鏡山 3 丁目 10-18
テクニカルセンター：広島県東広島市西条中央 5-15-2



ホームページ

